写真の町

しがしかわ 議会

第145号
平成22年5月1日
[発行]
東川町議会
[編集]
議会報編集
特別委員会
〒071-1492
北海道上川郡東川町東町1丁目
☎0166-82-2111

満開の桜（キトウシ）

第1回定例会を開催……2
一般質問……4
議会定数条例改正……13
議案審議・審議結果……13
議会日誌・編集後記……16

第１回　定例会を開催

- 第1回定例会を、3月9日から16日までの8日間開きました。
- 9名の議員が行政改革・行政執行方針・観光振興などについて一般質問しました。
- 平成22年度一般会計・5特別会計の予算案について、委員会に分かれて細部の説明を聞き、本会議において承認しました。
- 平成21年度一般会計・4特別会計の補正予算案、及び各種条例案など29件について審議し、原案可決としました。

第三地区地域センター建設

22年度予算

平成22年度予算を決定しました。

一般会計は48億６４００万円、昨年より約９％増です。

主な事業は次のとおりです。

①第三地区地域センター建設事業

（2億１６６３万円）

地区コミュニティセンター及び消防第５分団詰所の老朽化により建設します。１０２帖の集会場・調理室・和室・洋室及び消防車庫・待機室、さらに農業体験施設としての宿泊施設を整備します。

７００５万円は国の交付金など、1億９９０万円は町債です。

②清流団地建設事業

（６３２０万円）

木造平屋建2棟4戸を建設します。

１３４９万円は国の交付金、４９７０万円は町債です。

③天人峡天津橋

架替え事業

（約1億１７８１万円）

19年度から毎年断続的に工事を行ってきましたが、本年度で完成の予定です。

６９００万円は国の交付金、４６３０万円は町債です。

④西10号道路改良事業

（７３００万円）

路面の損傷が大きいため、21年度から歩道も設置し拡幅改良しています。今後も工事は続く予定です。

４３８０万円は国の交付金、２７７０万円は町債です。

⑤道の駅駐車場増設事業

（約６２６５万円）

駐車場が狭いため増設します。

３６００万円は国の交付金、１９９０万円は町債です。

⑥キャンモア町　中・高校生派遣事業

（４４１万円）

中学生（英検４級以上）・高校生（英検３級以上）15名を、夏休み中の3週間キャンモア町に派遣します。

⑦東川賞授賞式事業

（約５２０万円）

今年から、特別賞を特別作家賞1名と飛彈野数右衛門賞1名に増やしました。賞金額も増額し、海外作家賞・国内作家賞各１００万円、新人作家賞・特別作家賞・飛彈野数右衛門賞各50万円にしました。

⑧東川小学校耐力度調査事業

（約６４７万円）

老朽化した建物の耐震性など耐力度調査を行います。

⑨東川小学校等建設推進事業

（約６４７万円）

建設推進委員会の設置、建設構想の作成を行います。

西10号道路

第１回　定例会を開催

⑩地籍調査事業
（約98万円）
市街地の地籍調査を行うため、事業計画書を作成します。

簡易水道事業は４１８０万円、前年同額です。
20年度から行っている、市街地の全戸地下水水質調査は３年目になります。
（約６３９万円）

ダム維持管理負担金（約２５４万円）・ダム起債償還金（約３２７３万円）が主なものです。

公共下水道事業は１億４１３０万円、昨年より４１４０万円減です。
今年は、昨年行われた下水管の更正工事がありません。
旭川広域圏下水道汚水処理負担金は、３９０６万円です。
一般会計からの繰入金は４５９９万円です。

町立診療所は３億２２２０万円、昨年より２１８０万円減です。
今年は、昨年行われた医師住宅建設がありません。
受付事務を直接雇用に変更します。
一般会計からの繰入金は１億３０００万円です。

宅地造成事業は１２１０万円、昨年より約６５３万円減です。残３区画の販売を見込んでいます。

第１回臨時議会

１月20日に開催しました。
一般会計補正予算額は約３１０万円の増額です。
一時借入金を４億円増額し、借入れの最高額を13億円にしました。
学校ＩＣＴ環境整備事業の備品購入を可決しました。各小・中学校・幼児センターなどにデジタルテレビを設置します。

第２回臨時議会

３月25日に開催しました。
一般会計補正予算額は約８２７万円の減額です。
特別交付税が約１３９６万円の減額になり、財政調整基金積立金が約３１１万円減額になりました。
次の請負契約を可決しました。

①共生型サロン建設工事
工期は８月21日までです。９月オープンの予定です。

②第一・第二・第三小学校耐震改修工事
工期は全て10月29日までです。

③地域情報通信基盤整備工事
工期は23年３月10日までです。この工事が終わりますと、全町に光ファイバー網が完成します。

全員協議会

１月20日、町長部局より東川小学校移転改築・町民交流センター建設候補地、及び地籍調査事業検討書について説明がありました。
２月26日、町長部局より行政事務機構の一部改正など、６項目について説明がありました。
協議会終了後議会内に、東川小学校等建設検討委員会を設置しました。

東川小学校等建設検討委員会

２月26日、委員長に浜辺啓、副委員長に長峰毅八を選び、全議員で検討することにしました。
３月２日、３月25日、４月５日と４回にわたり委員会を開催しています。

第一小学校

第二小学校

第三小学校

ここが聞きたい一般質問

問 子宮頸がんの予防接種の公費助成は
答 前向きに検討

原　博

質問　予防ワクチンは子宮頸がんの原因の約7割を占める「16型」と「18型」のウイルスに対するもので、がん検診とのセットでほぼ100％予防ができます。

11才から14才を中心に45才までの接種を推進していますが、接種費が1回1万円以上で3回接種が必要です。高額の負担を軽減するためにも公費助成が課題です。

町長の所見を伺います。

町長　日本では昨年10月に認証され、12月から一般医療機関で接種できるようになりました。

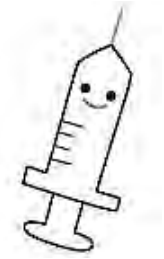
現時点での輸入ワクチンの日本人に対する有効性確認や国内で開発中の新型ワクチンの推移、今後の厚生労働省の対応をみて判断します。

再質問　子宮頸がんは全国で3500人の命が亡くなるという現状です。

若い女性の命を救うためにも再度町長に念願します。

町長　がんに対する予防ワクチンができた事を認識をしながら行政を進めていく必要があります。

920名の町民から署名をいただいています。研究グループを立ち上げ、医師、保健師、専門家、厚生労働省等の意見を聞きながら、前向きに検討します。



問 行政組織改革の対応は
答 効果大である

質問　行政組織の簡素化、業務量の見直しを積極的に推進し、細身の行政組織化を目指し、組織機構の改革に努めると言われました。どのような効果がでましたか。

町長　基本は財源確保、業務内容の整理統合、業務分担の明確化、並びに住民サービスの向上です。

①町立診療所薬局を民間院外薬局に移行

②指定管理委託・NPO法人「ねおす」委託

③大雪地区広域連合の設置、上川滞納整理機構の加入、大雪消防組合東川署と東神楽署の統合

④副町長の2名制、グループ制の導入、課（局）の統廃合

また、職員定数は平成15年と比べると124名から98名に縮小しました。

自主財源である税収は約2億円伸びています。

財源確保により「町立診療所の通院患者無料送迎サービスの実施」「幼児センター機能の充実」「高齢者等福祉の充実」「公共交通の見直し試行」「自治活動の推進」「適疎な空間整備」など、大きな効果です。

再質問　組織機構の今後のスリム化及び行政サービスについて、町長に伺います。

町長　住民サービスの上限というものはない訳で、より良いサービスを目指して最小の経費で、執行していく姿勢は今後とも引き継がれていかなければならないと認識しています。

一　般　質　問

問 管理委託の決め方は
答 町が管理者と金額を決める

大　澤　　聡

（一問一答方式）

質問 指定管理委託料はどのように決めていますか。

町長 事業収入が管理収入を上回ることを前提にせず、また競争入札にもしていません。町が指定管理者を定め金額を決めます。

質問 21年度に対して、およそ8・3％上がっています。特に道草館では40％以上も上がっています。

町長 昨年は委託費に消費税相当分を含めなかったため、消費税を受託者がみました。

産業振興課長 道草館の駐車場を昨年5月に広げ今年整備すると、除雪面積が倍以上になり、管理費を100万以上増やしました。

質問 ブドウ栽培委託料100万円の事業主体はどこですか。

町長 町が所有し農業振興公社に委託してきました。

質問 宣伝されていないようですが、どこで販売し、売れ行きはどうですか。

町長 面積も少なく、毎年赤字の経営面からも、特産品とすることを検証しなければなりません。

産業振興課長 昨年8・4tのブドウでできた約4千本のワインをキトウシと道草館で販売しています。特産品として親しまれていますが、販売実績は調べていません。PRは是非必要と考えます。

問 共同電算処理の内容は
答 単独も視野に広域的活用も検討

質問 昭和38年に上川管内町村の鷹栖以外の7町で電算事務の共同協議会をつくり、電算処理を東神楽町でしています。1500万円程度ですが、町独自ではできないものか、今後はどうなっていくのかなど伺います。

町長 当時のコンピューターは大型で、鷹栖町は独自の考え方で導入しました。現在は高性能になり、独自で導入している町村も多いです。今後単独でやることも視野に入れながら、広域的な利活用を検討します。

サーバーの更新はきちんとやり、端末パソコンはできる限り大切に活用するよう申し合わせをしています。

一　般　質　問

問 英語教育が日本語に与える影響は
答 幼少期から正しい日本語を教える

米　田　　保

質問

小学校の英語が必修化され、２０１１年度から実施されます。

会話を重視し、現実に役立つ英語を学ぶ第一歩としました。

今日、日本語言葉の乱れ、特に敬語については、耳を疑う事もあります。日本語の危機、日本語を守る対策、英語力を望む現在だからこそ自国語、言葉の教育に重点を置くことが重要と考えます。教育長の考えを伺います。

教育長

私も同感です。特に、テレビのバラエティ番組は言うに及ばず、大人の発言や会話の中にも日本語の乱れがあることも気になります。

国語教育は重要であり、思考力、想像力及び文章能力などが身に付くことにより、英語教育の向上に繋がると考えています。幼少期段階から敬語も含めて学校や家庭でも、しっかりと正しい日本語を教えることが大切です。

再質問

中学生・高校生の修学旅行生を受け入れていますが、作業時の話し言葉、食事時の会話を聞くと、何処でこの言葉を教えられたかと思います。

日本語教育に力を入れる自治体が出てきました。

東京世田谷区教育委員会は、日本語教育特区、兵庫県伊丹市教育委員会は、言語教育特区など認定を受けています。

幼時からの話し言葉、義務教育からの自国語の大切さを、英語教育と同様に今一歩重視する必要があります。教育委員長、教育長に伺います。

教育長

東川町の義務教育においても、国語教育、道徳教育を含めて本の朝読書の時間など、学校に指示しまして、日本語の正しい使い方・話し方について指導して行きます。

教育委員長

家庭での学習が、非常に少ないと懸念されています。親子のコミュニケーションで言葉の乱れを無くすような家庭教育も大事と言われています。

再々質問

空白する家庭の時間をどの様に補おうとするのか、教育者の大きな問題です。また、ゆとり教育から確かな学力の向上に転換しました。本町のゆとり教育はいかようなものでしたか。

教育長

北海道は、都道府県の中で下位の状況に3年間います。学力向上に向けた取り組みが行われています。

幼児センター「ももんが森の大きな木」

一　般　質　問

問　行政改革の具体的な取り組みは

答　選択と集中で重点的に

長　峰　毅　八

質問　本年度の行政執行方針の中で、行政改革の具体的な取り組みが示されていません。

行財政運営が、より難しい背景と認識しています。次の2点について伺います。

①実施された新行財政改革大綱の総括と課題を示して下さい。

②本年度以降の行政改革の計画や目標は立てるのか、計画があれば基本的な項目で示して下さい。

町長　①平成18年2月に「東川町新行財政改革大綱」を策定しています。今回、最終年を迎え、事業計画が概ね達成または実施予定でいる状況です。

今年度は、同大綱に定める主要な成果目標に準じた財政運営を行います。

②自主計画策定は、平成21年度の達成状況及び効果の分析を行い、更に新政権下における政策の方向性を見定め12月頃を目処に行います。

再質問　①町にとって必要な事業なのか、事業仕分けの検討をされますか。

②新行政改革について、調査検討・諮問委員会など、中心を外部の専門家に委託する考えはありますか。

町長　①選択と集中で事業を進め、時代の流れの中で重点的に予算を投入し、内部で選択し、議会とも協議をさせて頂いています。

②外部というのは住民以外とすると、先ず自分たちで決めていくことが、先ではないかと思います。

問　福祉事業の検討と今後の課題

答　「三つのワ」で行政を展開

質問　①自治基本条例の21年度での検討内容と今後の課題について示して下さい。

②診療所は今後何を目標に経営改善を図りますか。

③地域福祉推進本部の検討内容と課題を示して下さい。

④地域自治振興会に対し、必要性の認識や理解を深める努力、行政の積極的な指導や助言が必要です。

町長　①自治振興会と行政との関わりを具体的にどのように定めるか検討しています。

町づくり計画の位置づけ、町づくりに関する「理念・制度・原則」を定め、町民と議会、行政の「役割と責任」、「情報の共有」、「町政への参加と協働」等の規定も検討します。

②経常経費の削減と収益の増額で1200万円程度の財政効果を見込み、院外薬局の設置により雇用機会の確保とサービス向上に貢献しています。

③地域福祉支援システムを導入し、社会福祉協議会・地域包括支援センター・行政で基盤支援高齢者情報の共有化を図ります。

治療を必要としない社会的入院患者等も含め、新たな居場所として介護と医療のサービスを受けることができ、受給年金で入居可能な在宅の在り方についても検討します。

④全てが行政からの指示により行われるのではなく、より良い地域をつくるため、今年は「三つのワ（話・輪・和）」の行政を展開します。

地域コミュニティ推進連絡協議会と連携し、外部から講師を招聘した学習会を開催します。

一　般　質　問

問 家族介護に支援を
答 在宅介護を把握し考える

鶴　間　松　彦

（一問一答方式）

質問 町には「家族介護慰労金支給要項」があり10万円が支給されます。支給条件は要介護4及び5の寝たきり、認知症のお年寄りを介護し、年間通じて一度も介護保険を使わないこと、住民税非課税世帯であることですが、この条件は厳しすぎます。条件を緩和して在宅介護の家族を支援する考えはありませんか。

町長 施設利用と在宅の方々とのバランスを考えていく必要があります。例えば税金（計算）の所得から一定額を控除するとか交付税に影響のない方法を考えてみるのがいいのかなと思います。

質問 在宅のサイクルの中でショートステイは、24時間介護している家族にとって、用事や休息などのために必要です。ショートステイ専用のベッドを確保すべきです。

町長 どのくらい家族介護をする方がいるのか、その辺の需要がどの程度あるのか把握し、需要と体制のあり方について考えてみたいと思います。

質問 今議会で中学卒業の入院まで新たに無料化されました。中富良野町など近郊や道内でも中学卒業まで入院・外来ともに無料化する市町村が増えています。この際、外来も無料化してはいかがですか。

町長 無料を続ければ老人医療費無料化のように大変なことになると思うんです。その結果、高齢化社会になり、今やそれを見なおさなければいけない。国の財政赤字の中にもそういう要因がある気がします。

また小さい頃から病気に罹らないような考え方を持つことも必要だと思います。

質問 ①生産（一次産業）・加工（二次）・販売（三次）を連携させる6次産業化が注目されています。町の特産物である農産物の加工、販売などを検討してはいかがですか。

②道草館には年間に30万人を超える人が訪れます。最近「足湯」は全国的に人気があります。旭岳・天人峡温泉の宣伝とサービスを兼ね、さらに交流人口を増やすために、温泉を汲んできて「足湯」を造ってはいかがですか。

町長 ①お米の加工について町内に製粉工場もあるので、連携して考えていく必要があります。

②我が町は地下水を含めて雪や水に恵みをいただいています。「足湯」は別にして水を活用したいと思います。サービスができないか検討してみる価値はあると思います。

問 子どものSOSを察知し支援を
答 毎日の様子に注意

質問 不登校やいじめについて、「アンケートをして早期発見に努める」とあります。その結果と対応について伺います。

教育長 アンケートの実施を確認していないので、後ほどお知らせします。

友人関係、先生との関わり、家庭の関係など色々なことで健康不良的な要素になっていると思います。

校長会の中でも子どもに声をかけながら毎日の様子に注意していただくようお願いしています。

質問 大切なのは子供からいないか、この信号をいち早く発見して援助することが必要です。また対応する先生方の健康が害されていると子供にも影響すると思います。

先生方が健康で余裕を持って対応できるような、配慮と体制が必要と思います。

教育長 学校健康安全法に基づいて健診を受けており、メンタルヘルスへの対応も行なっています。学校や先生方にも普段から注意していただき、対応していきます。

一　般　質　問

問　地域観光の魅力が引き出せる対策は

答　観光価値を有する町づくりを進める

高　橋　昭　典

質問　本町においても、日帰り入浴や料理等の工夫を凝らし、独自の期間限定町民割引を実施しているホテルもあります。

豊かな東川町観光を発展させるためには、観光事業者と協力し自主的な事業活動を促進・誘導し、東川町地域観光全体の魅力が引き出せる町の対策について、町長の所見を伺います。

町長　豊富な観光素材を活かした滞在型体験観光を開発するため、平成21年度から、「地域雇用創出実現事業」などを効果的に活用して、東川オリジナル観光プログラムの開発などに努めています。

本年度は、食の魅力アップを図るため、地元の米にこだわった「米粉」を活用した商品開発などにも積極的に取り組んでいきたいと考えます。

行政として最も大切なことは、議会の格別のご理解を頂き、観光価値を有する町づくりを進めることです。

再質問　平成26年度において、開基１２０周年を迎えます。いろんな形で東川町にゆかりのある方、本町に在住の方などを対象に長寿祝いのご慶事に対して、ご家族やご親族、友人・知人なども同時に宿泊された場合などに、宿泊料金の一定額割引を実施し、優遇策を設けてはいかがですか。

町長　ふるさと納税のひがしかわ株主制度の中で、温泉地に泊まった時に株主優待プランを実施しており、更に拡大をしていきたいと思います。

町民が声を大にしてＰＲできることは大変重要です。

再々質問　自然環境に対する負荷を与えない観光資源の使い方も必要であり、観光資源と自然保護に十分配慮する施策も必要です。

世界自然遺産に、大雪山国立公園の登録が将来的には可能性があります。昨年、旭川市が世界自然遺産に向けて検討する新聞報道が出ました。

一つにまとまった取り組みがなく、今後の登録に向けての対応を伺います。

町長　大雪山国立公園を有する市町村との間に、若干温度差があると思います。先ず、共通認識を持つことが大切であり、十分議論して頂き、旭川市に中心的な役割を果たして貰う事が良いと思います。

旭　　岳

一　般　質　問

問 温泉の町民利用に補助を
答 関係団体と協議

藤　原　啓　子

（一問一答方式）

質問　一昨年、旭川電気軌道・旭岳天人峡線バス代の補助券、無料入浴券が町民に提供されました。昨年は実施されていません。地元温泉を地元町民が利用する、観光も地産地消が大切です。

東川の子どもたちが、将来町外に移っていっても、地元の温泉に思い出を持ち、将来家族を伴ってのリピーターになってもらう計画も必要です。

町民が、温泉を利用しやすい施策、学校で温泉を利用したカリキュラムを作るなど、企画されませんか。

町長　平成20年は観光協会と協議し、観光協会は9月から半年間「いで湯号」の割引と温泉無料入浴券を広報に入れ、試行的に事業展開しました。

561名の無料券の使用があり、一定の町民利用につながったと考えます。

平成21年に「いで湯号」の運行が観光協会主導から旭川電気軌道株式会社に変り、「いで湯号」の割引が難しくなり、更に各ホテル・旅館で独自のサービスを行うようになり、観光協会は取組みを見送ったようです。

関係団体等と十分協議したいと思います。

質問　美瑛町は、美瑛駅前から白金温泉まで大人片道600円に対して、身障者と70歳以上の町民に「白金線無料乗車証」を発行しています。

東神楽町の花神楽まで、1日8便のスクールバスで、町の中心から片道100円です。無料券も1世帯年4枚配られ、通年利用できます。

本町も、温泉の通年入浴割引券、「いで湯号」バス代の高齢者大幅割引をしませんか。

町長　電気軌道の運行でも、期間限定で秋～冬は可能か、空気を運ぶより往復400円でも、入浴する側にもバス会社にも良いと思うので協議をしてみます。

温泉地の皆さん、観光協会と確認をしながら、検討します。

質問　子どもたちが山登り遠足の帰りに皆で温泉に入るなど、学校行事で取り組めませんか。

旭岳のサポーターになる町民を沢山つくることが、良い手立てになります。

教育長　東川愛護少年団33名の子どもが、活動後温泉に入ることはあるのではと思います。

町長　関係者と十分協議をし、積極的に取り組みます。

天人峡温泉

一　般　質　問

問 救急医療情報キットの配布を
答 希望者に無料配布

藤　倉　智恵子

質問

救急医療情報キットとは、高齢者や障がい者等の安心安全を確保するため、かかりつけ医や持病などの医療情報や薬剤情報提供書・診療券・健康保険証の写し、本人の写真等の情報を専用の容器に入れ、自宅に保管して置いて、万が一の救急時に備えるものです。

キットは色々あるが一般的には筒状の本体に医療情報を入れ、冷蔵庫に保存します。

日頃から自分の最新医療情報や緊急連絡先を保管して置くことで、もしもの場合に適切な処置が受けられ、もし自分の意識がなくなっても救急シートを使って、家族に連絡してもらえることなど、高齢者や健康上の不安を抱えている人にとって大変重要と思います。

町長の所見を伺います。

町長

救急医療情報キットは大変重要と考えています。

独居高齢者世帯・高齢者世帯・障がい者世帯等が日常生活で緊急時の対応に不安を抱える方が多いです。こうした高齢者等の緊急対応として、本人の病歴、処方薬の医療情報、緊急連絡先等を記載したカードを、冷蔵庫などの前面にステッカーを貼り付けるキットを用意し、救急隊員や医療機関が迅速な処置がとれます。

希望者に無料配布します。

再質問

若い人でも体調の急変が有り得ます。家族が居ても互いの服薬、お薬情報を把握しているとは限りません。

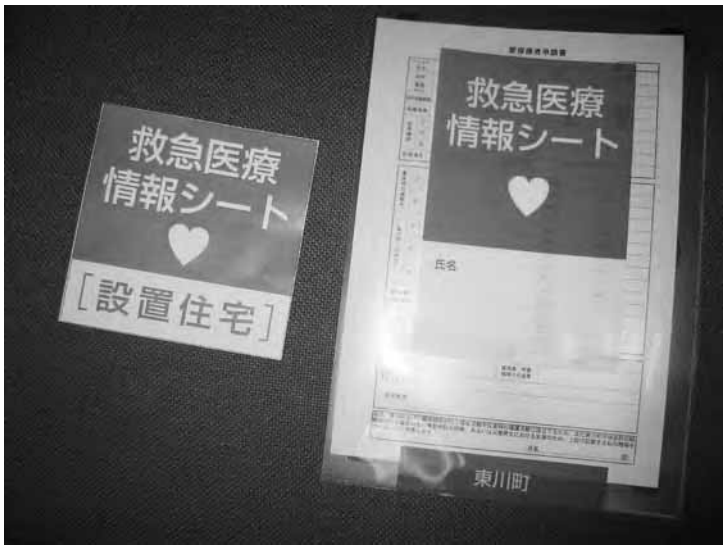
そこで、高齢者・障がい者等だけでなく、若い方にも希望があれば無料配布を受けることができますか。

町長

原則は65才以上になるかもしれません。

高齢者等で希望される世帯という事にしていますが、健常世帯でも万が一のことを考えて用意したい方がいれば配布は可能です。

救急シートの記載内容の指導も徹底していきます。



一般質問

問 椅子贈呈、物を大切にする心を養うとは
答 自分の居場所・思い出、経済的効果期待

佐竹司兆

（一問一答方式）

質問 行政執行方針について

①定住自立圏構想参画のメリットはありますか。協定は何時頃ですか。

②中学卒業時に椅子を贈呈することで、物を大切にする心を養うことはできません。

③新行財政改革大綱に法的な根拠はありますか。職員を目標よりも多く減らしすぎています。今は、給料を上げることよりも、職員を増やす時ではありませんか。

④キャンモア町・ルーイエナ町の特産品コーナーの設置及び収益事業はどうなりましたか。

⑤6年前から観光協会の法人化を検討していますが、何時頃に法人化の目処を立てますか。

町長 ①財政支援・有利な事業債などがあります。出来るだけ早くやります。

②自分の居場所・思い出にもなります。木工業に経済的な効果が期待できます。

③法的な根拠は無いと思います。民間委託もあり、職員数の比較だけではいきません。臨時的な事業増には、臨時職員などの対応でしのぐ職員配置を考えています。

④ラトヴィア関係は道草舘で販売しています。

⑤法人化は避けて通れません。観光協会が自立していけば当然なります。何時になるかは、団体が判断することです。

地域活性課長 キャンモア町からは、1週間後位に物が送られてくる予定です。ラトヴィアの物産は、思ったほど利益は出ていないと聞いています。

エサをついばむ白鳥

問 社会教育、実施から支援へ変質では
答 効率化などによる表現の変化

質問 社会教育を取り巻く環境が大きく変わってきています。積極的に実施する体制が無くなってきています。実施・開催から支援する社会教育に変質しています。このようなことで、法に定められた社会教育を実施できますか。

教育長 機構改革・事務事業の見直しも行っています。地方自治法では事務委任もできます。地域自治振興会の事業とするもの、簡素で効率的・効果的なすすめ方などにより、表現が変わってきています。最近、新しい事業はありませんが、従来の事業を継続して実施しています。

質問 婦人会連絡協議会・子供会育成連絡協議会は無くなっています。しかし、単位子供会は沢山あり活動しています。保護者と一体となって行われる行事も多く、教育には欠かせないものです。育成・研修・連絡交流などどのように推進しますか。

町長 どこまでやれば良いのか、非常に難しい問題です。町づくり・人づくりは与えられるものではないと考えています。家庭教育は非常に重要です。リーダー研修などは前向きに検討します。

第1回臨時議会の主な質疑（平成22年1月20日）

質問議案	質問者	質問要旨	町長答弁
一般会計補正予算について	藤倉智恵子	・総務費の中の備品購入費の内容は何ですか。	・（企画総務課長）写真の町事業に係るボランティア等が宿泊する施設（旧医師住宅）にテレビ、洗濯機、冷蔵庫、ストーブなどの電化製品が約52万円、ソファー、テーブル、ベッド、カーテン、食器棚等の家具が約51万円です。
	佐竹司兆	・一時借入金を4億円増やすということですが、年度末にこれほど増額しなければならない理由は何ですか。	・（企画総務課長）国からの財源で特別交付税約1億円、国庫支出金約10億円、道支出金約2億円、町債約6億円など歳入で見込んでいる補助金等が約19億円ありますが、まだ入ってきていないので、一時つなぎの借入金で対応する考えです。
学校ICT環境整備事業備品他（デジタルテレビ）の購入について	藤倉智恵子	・どのくらいのディスカウントですか。	・（生涯学習課長）定価はなくオープン価格です。設計価格はかなり落としており50型プラズマテレビでは18万6千円です。数社見積もりを取り最低価格を利用しています。

第2回臨時議会の主な質疑（平成22年3月25日）

質問議案	質問者	質問要旨	町長答弁
共生型サロン建設工事について	鶴間松彦	・24時間対応ですか。夜間の人も必要で、運営上慎重に検討すべきです。	・（合田副町長）保護者などと協議します。夜間は突発的な状況に対応します。NPO法人を立ち上げ、町の指導員も入れて運営します。8月いっぱいに完成させて9月オープンを考えています。
	長峰毅八	・他にも同じような施設があります。トラブルの無いようにしてください。	・（住民福祉課長）その施設とは話しをしており、対応が若干違いますがご理解をいただいています。
地域情報通信基盤整備工事について	谷千代栄	・当初、ポテトが工事をすると聞いていましたが、変わっていないのですか。	・（企画総務課長）第二地区・天人峡・旭岳地区について光ファイバーを町が敷設して、その施設を使ってポテトがサービスを提供するということです。

条例改正・意見書

議員定数条例改正

現在「14人」の議員定数を、平成23年２月28日の選挙から「12人」に改めました。

農業農村整備事業の予算確保に関する意見書

意見書を採択し、議長名で内閣総理大臣・各関係大臣に送りました。

昨年の本道農業は冷湿害において、土地改良事業により生産基盤の整備したほ場ほど被害が少なく、その効果が顕著であった。国は平成22年度農業関係予算で、戸別所得補償対策費に重点配分し、農業農村整備事業費（土地改良事業費）を大幅に削減した。そのことは本道農業の生産性の低下から、わが国の食料自給率の低下や国民全体の不利益につながるものと危惧する。

安全安心な食料を国民に安定的に供給するため、農業生産基盤整備の継続的且つ計画的な実施は不可欠であり、よって次の事項の実現を強く要望する。

１．農業農村基盤整備事業の着実かつ計画的な推進に必要な予算を確保すること

２．食料自給率200％の北海道農業が、安心安全な食を提供できるよう、担い手育成、優良農地の確保・整備を強力に推進すること

３．農業の持続的発展は、国民の命と暮らしを守る上で極めて重要であり、必要な措置を強力に推進していくこと

農業用水路

第1回定例会の主な質疑（平成22年3月9日～16日）

質問議案	質問者	質問要旨	町長答弁
22年度一般会計予算について	鶴間松彦	・臨時職員とパート職員の賃金改善を要請しましたが、その分は含まれていますか。	・（企画総務課長）電話交換手や臨時職員増員分、退職しその後臨時職員で働く職員分等、若干余裕を持っています。臨時・パート職員の待遇改善分は手当と給与の改定分を予算計上しています。
	由川英二	・農家地区の戸別ゴミ収集について、高齢者などは個別に回収してほしいとの声もありますが、環境保全会ではゴミステーションを設置していますので相談して実施していただきたい。	・雇用機会の確保と住民サービス向上を結びつけて試行します。ゴミステーションと戸別回収という、両面で進めます。
	長峰毅八	・水サミットについて、11月でなく東川の景観を良く見てもらえる時期に日程を検討してはいかがですか。	・11月10日のいい井戸の日は関係者に日程を開けていただくことになっており、今回は無理かもしれません。次回以降に日程変更できるか検討したいと思います。
	鶴間松彦	・環境問題でも林業は無視できません。国有林・道有林、不在地主などの森林を買い取るなど、積極的な林業展開を検討してはいかがですか。林務関係の職員配置は21年度無かったようですが、今後はどうなりますか。	・（長原副町長）国の予算でも林業関係は増加しています。伸ばす事業と考えています。21年度は農務との関係で一名減員でしたが、今後は森林組合との連携が重要なため、森林組合に席を置き連携を強化します。
	長峰毅八	・キトウシ公園の今後のあり方、集客方法などを検討してほしいと思います。	・公社でも動物・植物、食の面などを打ち出して検討されています。町も積極的に支援し地域の活性化を図っていきたいと思っています。尚、経費は平成14年度は4200万円、今年は3400万円と縮減されてきています。
	鶴間松彦	・町内には専門学校や高校もあり、若い人が定着するような仕事、雇用などを考えてはいかがですか。	・（長原副町長）国・道の事業の基金事業やふるさと再生事業などの雇用対策があります。若者が定着できる事業も盛り込んで努力しています。
町営バス条例について	鶴間松彦	・地方交付税の交付条件に合わないと言うことですか。町営バスという名称は残すべきと思いますが。	・（企画総務課長）交付税ではスクールバスという位置づけです。名称が町営バスであれば相応しくないとのことで、大幅に減額される状況です。朝夕の実態はスクールバスで日中が乗り合いタクシーという実態から、スクールバスに条例を改正するものです。
		・デマンドタクシーは不便になったという町民の声が聞かれます。改善すべきと思いますが。	・（長原副町長）アンケートを取り意見をいただきました。中型バスを4便に、デマンドを6便にそれぞれ増便する予定です。試行錯誤しながら対応していきます。
	藤原啓子	・スクールバスとして交付税を受けているのであれば、学生の通学料金は無料にすべきではないですか。	・（町長）スクールバスは無料でなければならないということではないと思います。内部でも議論し従前と同じ形で進めることにしています。

第1回臨時会の議案審議結果（平成22年1月20日）

区分	議件名	議決の内容	結果
補正予算	・平成21年度　東川町一般会計補正予算（第6号）について	・3，099千円を追加し、総額5，614，776千円とする	原案可決
	・平成21年度　東川町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	・2，400千円を減額し、総額260，900千円とする	〃
その他案件	・学校ICT環境整備事業備品その1（デジタルテレビ）の購入について	・学校ICT環境整備事業備品その1（デジタルテレビ）購入	原案可決

第2回臨時会の議案審議結果（平成22年3月25日）

区分	議件名	議決の内容	結果
補正予算	・平成21年度　東川町一般会計補正予算（第8号）について	・8，265千円を減額し、総額5，746，166千円とする	原案可決
	・平成21年度　東川町公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）について	・842千円を追加し、総額257，479千円とする	〃
その他案件	・東川町共生型サロン建設工事請負契約について	・東川町共生型サロン建設工事請負契約（東町1丁目）	原案可決
	・東川町学校教育施設（東川第一小学校）耐震改修工事請負契約について	・東川町学校教育施設（東川第一小学校）耐震改修工事請負契約	〃
	・東川町学校教育施設（東川第二小学校）耐震改修工事請負契約について	・東川町学校教育施設（東川第二小学校）耐震改修工事請負契約	〃
	・東川町学校教育施設（東川第三小学校）耐震改修工事請負契約について	・東川町学校教育施設（東川第三小学校）耐震改修工事請負契約	〃
	・東川町地域情報通信基盤整備工事請負契約について	・東川町地域情報通信基盤整備工事請負契約	〃
	・専決処分の報告について	・車両接触事故に係る和解及び損害賠償	報告済

第1回定例会の議案審議結果（平成22年3月9～16日）

区分	議件名	議決の内容	結果
当初予算	・平成22年度　東川町一般会計予算について	・4，864，000千円（前年度比9・16％増）とする	原案可決
	・平成22年度　東川町国民健康保険特別会計予算について	・219千円（前年度比14・12％減）とする	〃
	・平成22年度　東川町簡易水道事業特別会計予算について	・41，800千円（前年度比0％）とする	〃
	・平成22年度　東川町公共下水道事業特別会計予算について	・141，300千円（前年度比22・66％減）とする	〃
	・平成22年度　国民健康保険東川町立診療所特別会計予算について	・322，200千円（前年度比6・34％減）とする	〃
	・平成22年度　東川町宅地造成事業特別会計予算について	・12，100千円（前年度比35・05％減）とする	〃
補正予算	・平成21年度　東川町一般会計補正予算（第7号）について	・139，655千円を追加し、総額5，754，431千円とする	原案可決
	・平成21年度　東川町国民健康保険特別会計予算（第2号）について	・270千円を追加し、2，225千円とする	〃
	・平成21年度　東川町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）について	・4，263千円を減額し、256，637千円とする	〃
	・平成21年度　東川町国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第2号）について	・3，800千円を減額し、総額340，800千円とする	〃
	・平成21年度　東川町宅地造成事業特別会計補正予算（第2号）について	・134千円を追加し、総額24，174千円とする	〃
条例等	・東川町課設置条例の制定の一部を改正する条例の制定について	・機構改革により「住民福祉課」を「保健福祉課」に変更、「定住促進課」新設	原案可決
	・東川町営バス条例等の一部を改正する条例の制定について	・題名を東川町スクールバス条例に改める	〃
	・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	・東川町外への研修又は派遣勤務を1年以上命ぜられた者の住居手当見直し	〃
	・東川基金条例一部を改正する条例の制定について	・運用益金の事業充当できる基金に「小西健二奨学基金」を追加する	〃
	・東川町乳幼児等医療費等助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	・入院を中学生まで拡大助成対象とする	〃
	・東川町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の制定について	・身体障害者福祉法施行令一部改正に伴い、肝臓機能障害を新たに認定基準に追加	〃
	・国民健康保険東川町立診療所条例の一部を改正する条例の制定について	・介護保険事業に係る部分の削除	〃
	・東川町企業立地等総合支援条例の一部を改正する条例の制定について	・対象とする日本基準産業分類の改定に伴う改正	〃
	・写真の町に関する条例の一部を改正する条例の制定について	・特別作家賞に飛彈野数右衛門賞の創設	〃
	・東川町立公園条例の一部を改正する条例の制定について	・「グリーンビレッジパーク」（南町3丁目）を加える	〃
	・北海道町村総合事務組合の規約の変更について	・胆振西部衛生組合他加入団体の解散脱退、名称変更による改正	〃
	・北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	・〃	〃
	・北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について	・〃	〃
	・上川支庁管内町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定について	・支庁制度改革に伴い「上川支庁」が「上川総合振興局」に名称変更。「幌加内町」が上川総合振興局管内に編入されるため規約の変更	〃
	・上川教育研修センター組合規約の一部を改正する規約の制定について	・〃	〃
人事案件	・人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	・山口佐知子氏の任期満了による再任	適任
	・被表彰者の推薦について	・大川利夫氏、山下由紀夫氏、田中朱実氏（勤続30年以上の職員表彰）	同意
その他案件	・町道路線の認定について	・「4丁目北道路」「北立団地道路」の認定	原案可決
	・指定管理者の指定について	・「西団地集会所」を北町2丁目町内会、「大雪遊水公園」を㈱東川振興公社	〃
初議案	・東川町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	・議員定数14人から12人に変更（次回の一般選挙から適用）	原案可決
	・東川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	・町組織機構改革に伴い所管課名の変更・追加	〃
意見書	・農業農村整備事業の予算確保に関する意見書	・藤原啓子議員より提案理由の説明	原案可決
その他	・閉会中の所管事務調査等の申し出	・総務文教・産業建設・議会運営の各委員長からの申し出	承認

議会日誌

平成22年 2月

1日　上川中央部市・町議会議長会定例会議
（愛別町）
16日　例月公金出納検査
（東川町・大雪地区広域連合）
22日　上川町村議会議長会定期総会（旭川市）
23～25日　東川賞審査会（東京都）
26日　第２回東川小学校等建設検討委員会
（議会内）
議会運営委員会

フクジュソウ

3月

ニリンソウ

2日　第1回定例会前各常任委員会・全議員協議会
9～16日　第１回定例会
10日　議会運営委員会
11～12日　各常任委員会平成22年度予算等議案審査
23日　例月公金出納検査
（東川町・大雪地区広域連合）
25日　第２回臨時会
第３回東川小学校等建設検討委員会（議会内）
30日　一部事務組合・大雪地区広域連合議会
（東神楽町）

4月

5日　第４回東川小学校等建設検討委員会（議会内）
14日　議会報編集委員会（第145号編集・第１回）
20日　例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
21日　総務文教常任委員会所管事務調査
（町財政と償還計画について）
22日　産業建設常任委員会所管事務調査
（天津橋工事と幼児センター工事について）
議会報編集委員会（第145号編集・第３回）

カタクリ

編集後記

桜前線一歩前進一歩後退。低温と日照不足で野菜が高騰。農業は気候が一番心配。天候不順で農作業も遅延。異常気象は「北極振動」が原因らしい▼こども手当・戸別所得補償制度・高速道路無料化・高校授業料無償化等国の政策もジグザグしながら、少しずつ進んでいる▼本町では東川小学校の建設が重要課題▼新型インフルの感染がアメリカ等で確認されて一年。流行が沈静化したが油断大敵▼「憲政の神様」といわれた尾崎行雄氏は「現在なしていることは、すべて将来に備えてのことだ」と未来志向を貫いた▼東川の将来は桜咲いたとなるであろうか。「芽吹きの季節」